

## 決戦の後Ⅱ part. 2 後編

vol.16「決戦の後に」で述べさせていただきました。「今後、市川市を良くしたい！という同じ志を持つ人たちに、私なりのノウハウを伝授していきたいと考えています。優秀な人たちが敷居の高さ等を気にせず、ドンドン市川市議会議員選挙に挑戦して、今よりもっとみんなが幸せに暮らせる市川市を構築する事が最終目標。」同内容の事を、vol.3「政治家に最も大切な心構え」vol.18「政治家になれるのは何歳から？」vol.29「政治家になれるのは何歳からc-part.2」でも述べました。今回、駅頭等を手伝ってくれた市川市民(※当時を含む)3人全員が、無事、選挙に当選しました！(市川市議会2人、鎌ヶ谷市議会1人)想いがあればお金を使わなくても当選できる！という事を3人が証明してくれた。と自負しております。でも、友人達は言います。『自分の活動時間を削ってまで』『自分の票を減らす可能性があるのに』ノウハウを伝えるのは人が良すぎるんじゃない？」私は違う考えを持っています。完全普通選挙が行われてから70年間、「日本を良くしたい！」という強い志を抱えて政治を志した人は多くいると思います。なのに現在、満足いく政治が実現出来ていません。この原因のひとつは「強い志を持つ政治家に続く政治家を輩出し続けるシステムができていないからではないか。」という仮説を持っています。そして「政治家は社会の1人の謙虚なプレイヤーである」という気持ちがあります。連携できる議員・団体・NPOそういうところを、いろいろ持つている事が大切であり、そういう方達と高い次元で連携していく事が、いろいろな問題への解決の一步になると考えています。いろいろな考えはあると思いますが、3人とは今後、そんな関係を構築していければ…と考えています。気づかないうちに易きに流されているのではないか…現状の困難の先にこそみんなの幸せがあるのではないか…議員5年目の今でもやはり試行錯誤の毎日です。どうかみなさんも「今後も住み続けてみたい市川市」を思い描き、話し合っして下さい。個々人の想いが集まっていけば、良い社会、街が形成されていくと信じています。

今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成27年10月13日

増田好秀